

妙智會

3月14日 本部供養会
本部本殿(ライブ配信)
宮本法嗣先生ご指導

Vol. 57
2022. 3. 21
1/2

前回の供養会と支部長研修会・役員会において、ウクライナの紛争について皆さまにお話をしたところ、私から細かいお願いはしていないにも関わらず、お心ある方が支援をされていると聞きました。この場をお借りして、心から感謝申し上げます。どうぞ引き続きお心のあるご修行をお願い致します。妙智の教えを元にしっかりとご修行させて頂くことで、早期の収束が必ず訪れます。

また、先ほどの祈願文の中にもありましたように、3月11日で東日本大震災から11年を迎えました。

私たちはこの震災を、忘れる事なくこれからも心に向けて、ご修行に励んで頂く事を重ねてお願い致します。

本日は「努力」という事についてお話をさせて頂きます。

私たちは教えの中でも普段の生活の中でも、この「努力」という言葉を使っておりますが、本当の意味でのこの努力について考えた事がないかと思えます。

本日は会主さまから生前中に頂いた事を元に、この努力についてお話をさせて頂きます。

先ずしっかりと皆さまに理解をして頂きたい事は、努力というのは人それぞれ違うという事です。

私たちは人に対して「それは努力ではないよ。当たり前的事だよ」と間違った事を言ってしまいがちです。

相手の努力をしっかりと見て、一生懸命やっているのだなど、優しい目と耳と口で感じ取って頂く事が肝要です。

時には強く言わなければならない事もあるかもしれませんが、分かりながら強く言うのと、分からないで強く言うのとでは、相手の受け止め方が違うという事も、学んで頂きたいです。

そして努力というのは、人に認められて成果が出てくるわけではありますが、しかしながら私たちが本当に大切にしなければならないのは、霊界に通じているかという事です。

大切な事は、努力をして人から褒められることより、霊界の判断を頂くことです。人から努力を褒められると増上慢になってしまいがちだからです。

人から褒められても増上慢にならず、霊界からの判断をしっかりと受け止める姿勢が大切であります。

私たちがしっかりと前を向いて正しい行いをしていれば、霊界はその努力を評価して下さいます。春の大法要に向けて、いろんな事に負けず、お四方のいらっしゃる霊界を信じ、霊界からの評価を頂ける努力を今からする事が重要です。